

現代のコントみたいに、
おかしくて笑える
ストーリーが人気の狂言。
一緒に習ってみませんか？



きょうげん こども狂言クラブ

あなたも参加してみませんか。



きょうげん こども狂言クラブとは

01年のホール開館以来、数回開催された「こども狂言ワークショップ」の流れを受け、05年に発足。能舞台での発声や歩き方、所作（立ち居振る舞い）などの基本から、扇の使い方、着物の文化なども含めた日本の伝統文化を、狂言を通して楽しく学んでいます。



和泉流狂言師の山下浩一郎先生

【クラブ概要】

活動内容 狂言 小舞の習得ならびに発表
対象年齢 新規受付は小1~中3.
活動日 月2回程度のけいこ 年5回程度の発表 主に土日祝
活動場所 伝国の杜置賜文化ホール 練習室 エントランス能舞台)
指導講師 和泉流 萬狂言一門 (東京)
料金等 こども狂言クラブ年会費 2,000円 (保険加入 テキスト代)
新規扇代 3,000円 狂言クラブうきたむ年会費あり

おけいこ

プロの狂言師の指導を含めて月2回ほどのおけいこの日、けいこ場はいつも和やかです。



「そこはもっとゆっくりと。まねしてみてください。」

はっぴょう 発表

上杉まつりや雪灯籠まつりにあわせての発表や、春休み発表会、能楽の祭典などに出演します。



狂言「くさびら」

山伏がきのこたちにテンテコマイ...

主な出演予定	2月第2土曜	雪灯籠まつり協力事業「雪に舞う会」
	3月春分の日	こども狂言クラブ春休み発表会
	5月4日頃	上杉まつり協力事業「さくらに舞う会」
	9月第2日曜	山形県能楽の祭典

保護者の方へ (サポート体制)

子どもたちが大人になったとき、それまで触れたことのない未知の分野にこそ関心を抱けるようにするには、何が必要なのでしょう。これから生きる子どもたちのために人生の先輩としてしてあげられることには何があるのでしょうか。置賜文化ホールでは、子どもが子どものうちに日本の伝統文化と出会い、その体験を家族とともに共有することを通して、先人が育んだ文化を継承する心の育成をお手伝いするため、こども狂言育成事業「こども狂言クラブ」を運営しています。

さらに、本事業の支援組織「狂言クラブうきたむ」を設立し、経験のある卒業生と保護者とが継続的な携わりをもつことで、サポート体制を強化しています。

お稽古は東京から通う狂言師が指導にあたります。それをつないでいくため、子どものやる気をつなげるために自発的な復習稽古をサポートします。一方で、演技の習得を除く部分 = 「関心を広げる」ための活動として、夏休み行事や着物講習会を独自に行っています。

きみもいっしょに

お問合せ先 **伝国の杜 置賜文化ホール**
電話 0238-26-2666
メール welcome@denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp
主催 公益財団法人 米沢上杉文化振興財団